

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 4 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2017/01/24 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587051101 | 科目番号 / Subject code | 05870511 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | コミュニケーションの生物学 (男と女の脳) / Male brain, female brain | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki, 土居 裕和 / Doi Hirokazu, 菊野 雄一郎 / Kikuno Yuichiro, 樽見 航 / Tarumi Wataru | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 篠原 一之 / Shinohara Kazuyuki, 土居 裕和 / Doi Hirokazu, 菊野 雄一郎 / Kikuno Yuichiro, 樽見 航 / Tarumi Wataru | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 / RoomA-43 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 大学院医歯薬学総合研究科 神経機能学 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-7033 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 16:30-17:30 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 社会的コミュニケーション能力には著大な性差が見られるのみならず、脳の性分化異常が社会的コミュニケーション能力障害をもたらすことが明らかにされている。本講義では、神経内分泌学、精神医学、心理学等の知見を俯瞰することで、コミュニケーション能力の個人差と脳の性分化の関わりについて理解を深める。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 1. コミュニケーション能力の個人差と脳の性分化について、意欲的に学習することができる (学ぶ力)。 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができる (考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができる (関わる力)。 4. 講義内での議論、プレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができる (表現する力)。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | PCプロジェクタを利用したスライド講義の他、講義内容に関連する課題やグループ学習等を行う。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 1. ガイダンス: 脳と社会性 2. 脳機能と性差 (1) 3. 脳機能と性差 (2) 4. ホルモン・フェロモンの科学 (1) 5. ホルモン・フェロモンの科学 (2) 6. 脳の性分化 (1) 7. 脳の性分化 (2) 8. 脳科学・行動実験体験 (1) 9. 脳科学・行動実験体験 (2) 10. 恋愛の脳科学 (1) 11. 恋愛の脳科学 (2) 12. 母性・父性の脳科学 (1) 13. 母性・父性の脳科学 (2) 14. グループ学習 (1) 15. グループ学習 (2)・プレゼンテーション | | |
| キーワード / Key word | 脳、性分化、フェロモン、社会的コミュニケーション | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 1. 神経科学 - 脳の探求 - ベアー他 (著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン (著) 丸善 3. 人にフェロモンはあるのだろうか? - ヒトケミカルコミュニケーションの生理学 (香りの選書 16) 柏柳誠 (著) フレグランスジャーナル 4. The Mommy Brain: How Motherhood Makes Us Smarter Katherine Ellison (著) Basic Book | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 出席 (予習課題) 25 レポート 25 グループ学習 25 プレゼンテーション 25 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |

| | |
|--------------------------------|--|
| 備考 (URL) /Remarks(URL) | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 3 |
| 開講期間 / Class period | 2016/09/30 ~ 2017/01/24 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587051301 | 科目番号 / Subject code | 05870513 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | コミュニケーションの生物学 (脳の成り立ちと働き) / Brain Development and Functioning | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 有賀 純 / ARUGA Jun, 中川 慎介 / Nakagawa Shinsuke, 畑山 実 / Hatayama Minoru | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 有賀 純 / ARUGA Jun | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 有賀 純 / ARUGA Jun, 中川 慎介 / Nakagawa Shinsuke, 畑山 実 / Hatayama Minoru | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育A棟43 / RoomA-43 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | aruga@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | 大学院医歯薬学総合研究科 医科薬理学 | | |
| 担当教員TEL / Tel | 095-819-7043 | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | 水 16:30 ~ 17:30 | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 1. 脳科学と社会性行動の成り立ちについて、意欲的に学習に取り組むことができること (学ぶ力)。 2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができること (考える力)。 3. グループワークに積極的に参加することができること (関わる力)。 4. 講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができること (表現する力)。 | | |
| 授業方法 (学習指導法) / Method | PCプロジェクトを利用したスライド講義の他、講義内容に関連する課題、実習等を行う (グループワーク含む)。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 1. 神経生物学入門: 脳と行動 2. ニューロンとグリア 3. シナプス伝達 4. 神経系の構造 5. 神経系の発生と発達と進化 6. 脳と感覚系 1 7. 脳と感覚系 2 8. 脳と運動 9. 脳と情動 10. 脳と言語・社会性 11. 脳と記憶・学習 12. 脳と幹細胞・再生医療 13. 脳と疾患 14. 脳と血管・創薬 15. 脳と治療薬 | | |
| キーワード / Key word | | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 1. 神経科学-脳の探求- ベアー他 (著) 西村出版 2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン (著) 丸善 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 出席点 (予習課題) 25 レポート 25 グループワーク 25 プレゼンテーション 25 | | |
| 受講要件 (履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考 (URL) / Remarks (URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回 (日時) / Time (date and time) | 授業内容 / Contents | | |

| | |
|------|--------------|
| 第1回 | 神経生物学入門：脳と行動 |
| 第2回 | ニューロンとグリア |
| 第3回 | シナプス伝達 |
| 第4回 | 神経系の構造 |
| 第5回 | 神経系の発生と発達と進化 |
| 第6回 | 脳と感覚系 1 |
| 第7回 | 脳と感覚系 2 |
| 第8回 | 脳と運動 |
| 第9回 | 脳と情動 |
| 第10回 | 脳と言語・社会性 |
| 第11回 | 脳と記憶・学習 |
| 第12回 | 脳と幹細胞・再生医療 |
| 第13回 | 脳と疾患 |
| 第14回 | 脳と血管・創薬 |
| 第15回 | 脳と治療薬 |

| | | | |
|--|---|--|--------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 火 / Tue 5 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 選択 / elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 2.0/2.0/2.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 20160587051501 | 科目番号 / Subject code | 05870515 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | コミュニケーションの生物学 (反平和学～人はなぜ不幸になるのか) / What is | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro, 澤野 恵梨香 / Sawano Erika | | |
| 授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject | 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro | | |
| 授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s) | 黒滝 直弘 / Kurotaki Naohiro | | |
| 科目分類 / Class type | 全学モジュール 科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義 / Lecture |
| 教室 / Class room | 教養教育G棟38 / RoomG-38 | | |
| 対象学生 (クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス/E-mail address | naokuro@nagasaki-u.ac.jp | | |
| 担当教員研究室/Laboratory | 精神神経科医局 (長崎大学病院 12階) | | |
| 担当教員TEL/Tel | 095-819-7293 | | |
| 担当教員オフィスアワー/Office hours | 月水木12:00 ~ 13:00 | | |
| 授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives | 本講座は教員(黒滝)が講義した「平和講座」の中で、「平和を希求するには、核兵器を持つ人の気持ちを知らなければならない。いっそのこと、戦争学でもやるか」との発言に、ある学生が「それならば(その講義も)絶対に受講しますよ」との声をきっかけに開講した。目的は精神医学を武器として身の回りにある「不幸」を徹底的に解析することである。なぜ人は病気になるのか、なぜ核兵器は(おそらく簡単には)なくならないのか、同様に自殺はなくならないものなのか、などをかなり真面目に考える。 | | |
| 授業到達目標/Goal | 各テーマごとに自分で調べ、考え自分の言葉で表現することを最大の目標とする。社会で起きている様々な現象、事件、をテーマとして取り上げる。思想信条は問わない。直近では、本年(平成27年11月)にフランスで起きたテロ事件が一つのテーマである。 | | |
| 授業方法(学習指導法)/Method | 講義、映画視聴、学生のプレゼンなど様々な形態で授業は進む。多様な価値観に基づく学生の自主的な討論を期待する。 | | |
| 授業内容/Class outline/Con | 不幸な現象の背景を理解する上での精神医学全般に関する一般的な知識の提供を行い、各自テーマを選び調査、解析をし発表する。特に医学を専攻としない学生諸君が興味を持って取り組めるよう出来るだけ日常的な言葉で話を進めたい。具体的なテーマは初回授業時のアンケートも加味したい。 | | |
| キーワード/Key word | 平和、不幸、対話 | | |
| 教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book | 以下は全て参考書である。 1) 何でもいので新聞を半年は読み続けること。何が現代社会の話題になっているかを知ること。 2) <対話>のない社会、中島 義道 3) 反知性主義: アメリカが生んだ「熱病」の正体、森本あんり | | |
| 成績評価の方法・基準等/Evaluation | 筆記試験は行わない。レポート50%、発表30%などの他、出席状況も評価に含める。 | | |
| 受講要件(履修条件)/Requirements | 受講要件は特に問わないが、本講座と並行して「平和講座」の受講をお勧めする。 | | |
| アクセシビリティ/Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL)/Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ/Message for students | 自分の言葉で自分の考えを語ることを学んでください。様々な困難の中で生きていく時の力になると思います。 | | |